

市長定例会見

2026年3月25日

東灘処理場でバイオマス受入事業の開始
～ 食品系廃棄物の受入量・国内最大に ～

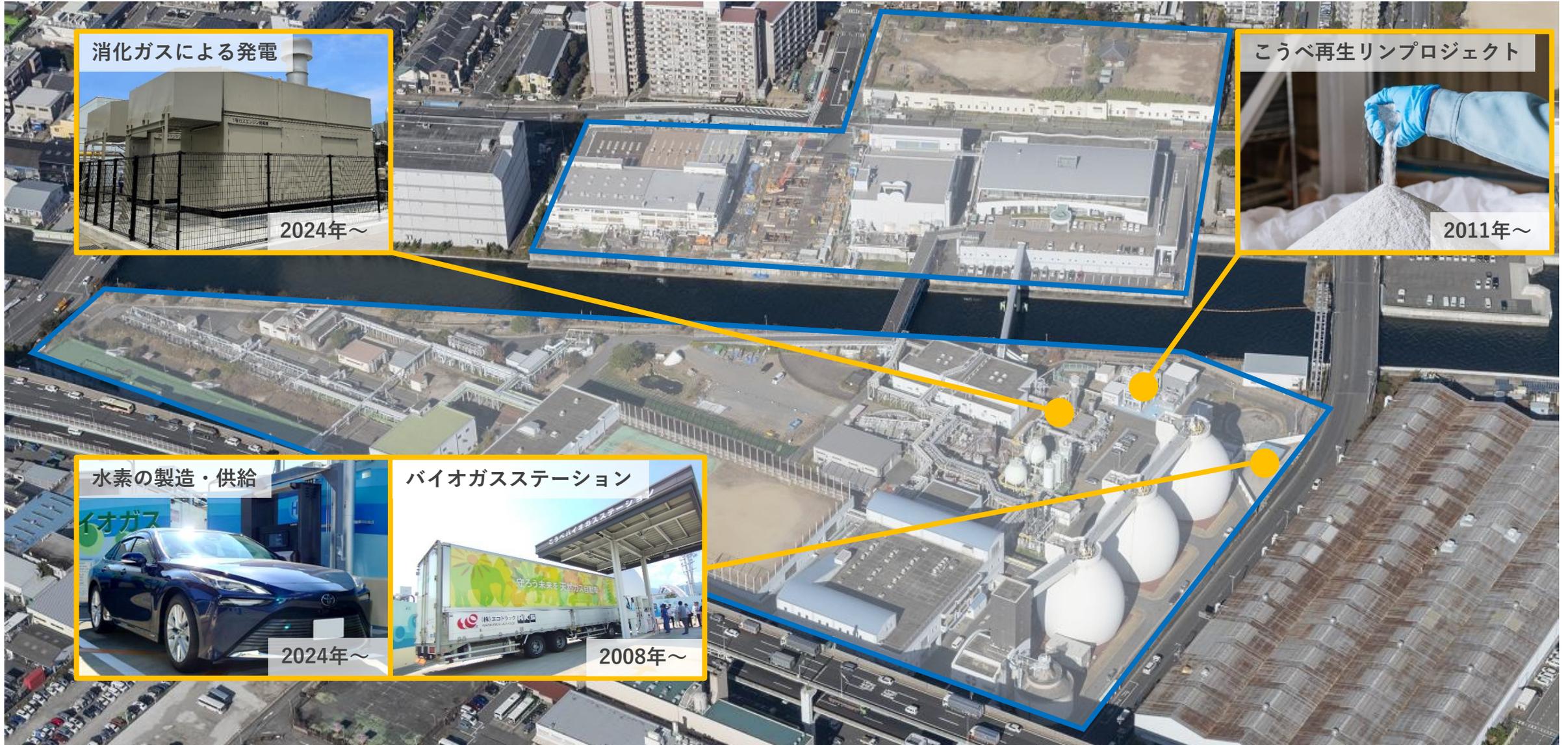
下水道におけるSDGsの取り組み

こうべ再生リンプロジェクト



消化ガスの有効活用





これまでの取り組み



天然ガス自動車



水素自動車



電力

電力会社

電力

水素

2024年7月1日 開始

水素供給事業



水素



電力

消化ガス発電事業



下水汚泥

バイオマス

水処理施設

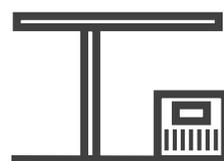
食品系廃棄物・木くず等
(実証研究 2011年5月～2021年3月)

消化ガス

消化槽

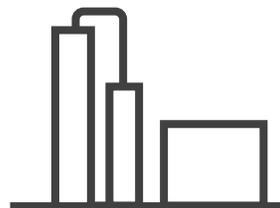
消化ガス

下水汚泥



バイオガスステーション

こうべバイオガス



バイオ天然ガス化設備



こうべ再生リン

バイオマス受入事業の開始 (2026年4月1日～)



天然ガス自動車



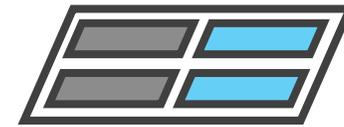
水素自動車



電力

電力会社

電力



水処理施設

バイオマス受入 本格実施



食品系廃棄物



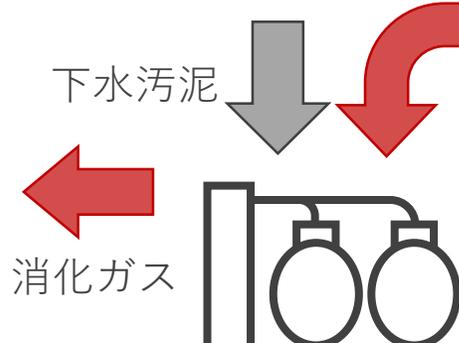
水素供給事業

水素



消化ガス発電事業

電力



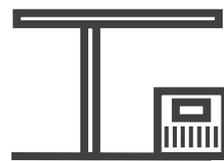
下水汚泥

消化ガス

消化槽

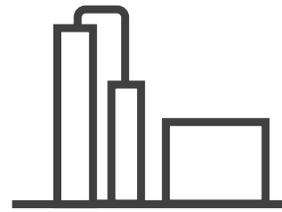


こうべ再生リン



バイオガスステーション

こうべバイオガス



バイオ天然ガス化設備

消化ガス

下水汚泥

バイオマス受入事業 NEW

概要

下水処理場での
産業廃棄物受入は国内初

- 事業運営者が食品系廃棄物を調整し東灘処理場の消化槽へ投入

約8倍

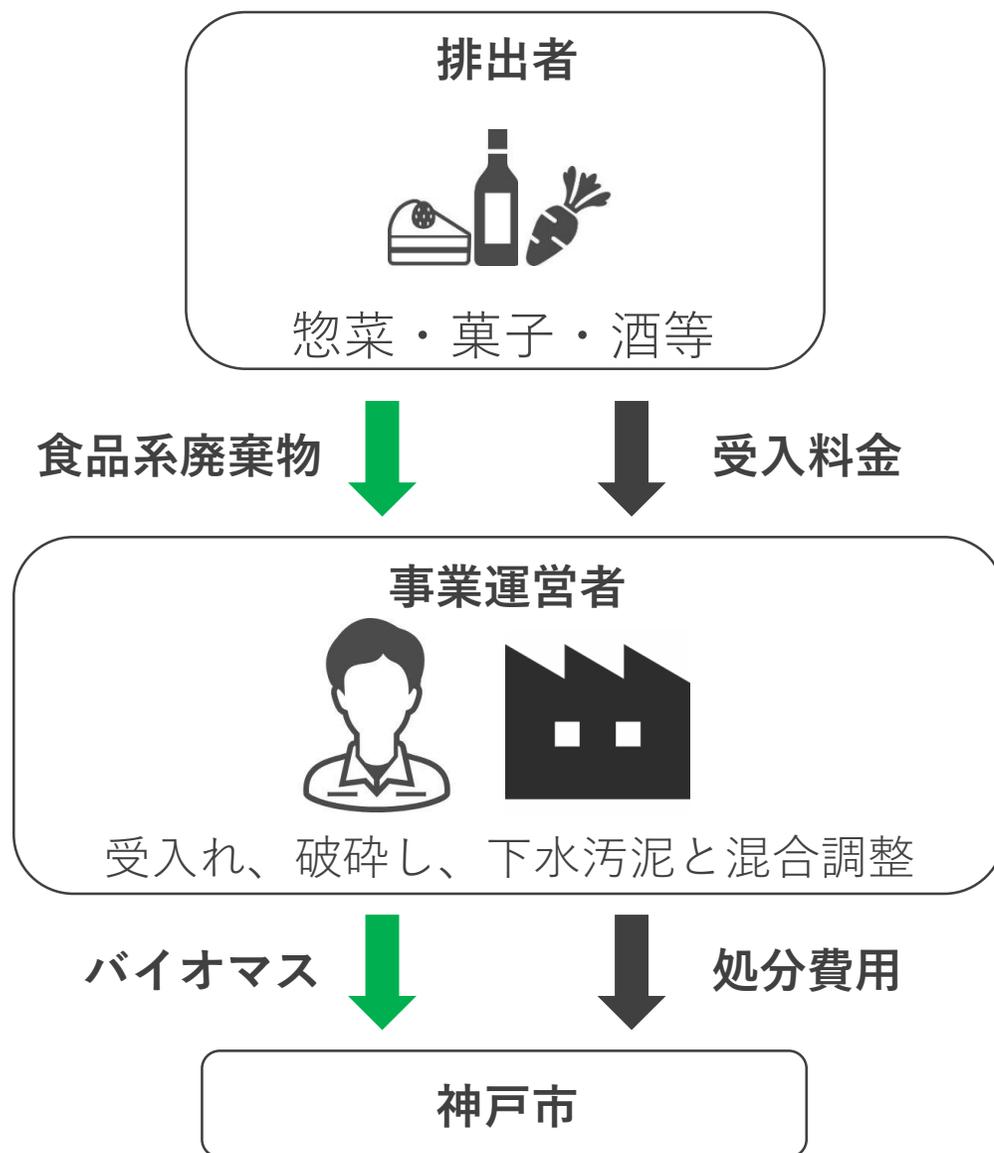
- バイオマス受入を拡大することで、有効活用できる消化ガス発生量が増加

消化ガス発生量

約 400万m³ /年

発電量が増加
(約1,300千kWh/年)

約 **460万** m³ /年



SDGs貢献への取り組みを進めます

< 東灘処理場でのCO2削減量 >

バイオガスステーション \triangle 約 200 t/年



(2024年7月開始)

消化ガス発電・水素供給事業 \triangle 約 3,200 t/年

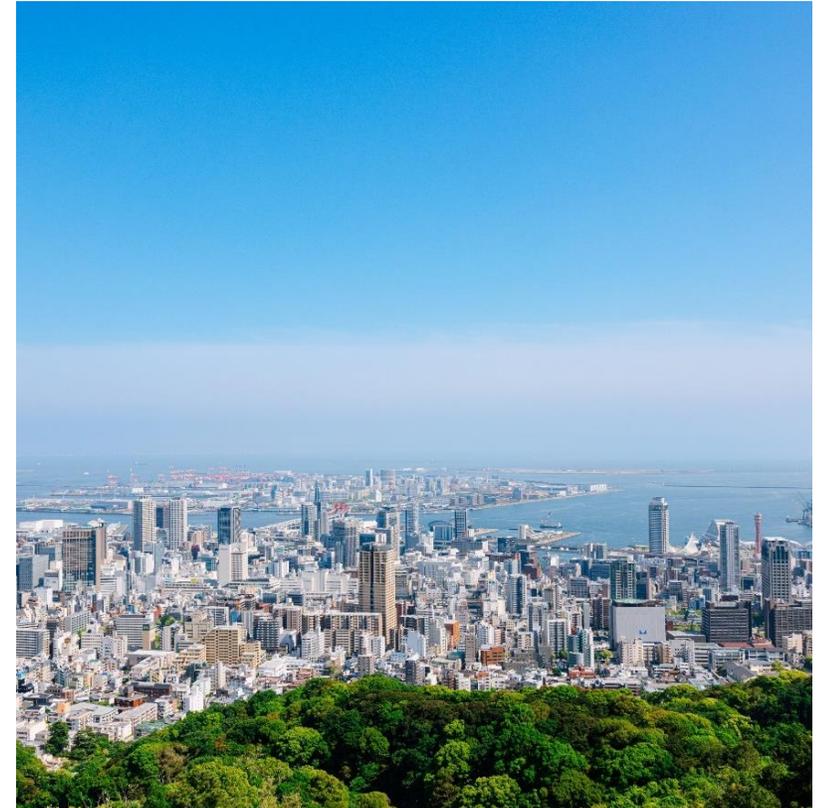


(2026年4月開始)

バイオマス受入事業 \triangle 約 600 t/年



東灘処理場全体で**約 4,000 t** /年のCO2削減へ



An aerial photograph of a wastewater treatment plant. The facility features several large, white, spherical aeration tanks in the center, surrounded by various industrial buildings and piping. In the background, a large cable-stayed bridge spans across a body of water. The sky is clear and blue.

下水道資源の活用のトップランナーとして

これからも、SDGsの実現に貢献し続けます